

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

🍁 京都市老人保養センターの運営について 🍁

当センターは、高齢者の福祉の増進を図るため、京都における高齢者福祉の中核的施設として、健康増進教室や、困りごと相談会、イベント風呂、利用者各種大会（カラオケ、卓球、囲碁、将棋、麻雀）などを実施しています。

センターの収入と支出

<センターの料金体系と入場者数>
 大人250円、団体（30人以上）1人100円
 令和3年度の入場者数26,825人

総額 3,090 万円

<支出> 利用者1人当たりの運営経費 1,150円 (A)

清掃等の委託費 140円	光熱水費 400円	事務費等の事業費 50円	職員人件費 550円	維持改修費 10円
-----------------	--------------	-----------------	---------------	--------------

<収入>

利用者1人当たりの収入 110円 (B)

総額 290 万円

総額 2,800 万円

(A) - (B)

入場料
110円
(10%)

差額 1,040円 (90%)

市民の税金で負担 (公費で負担)

利用者1人当たりの額です

いずれも概数
10円単位で四捨五入

○施設を利用しない方も含めた市民の負担 (公費負担) により、
 現行の入場料で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担(施設使用料等)と公費負担(市民の皆様にご負担いただく税金)などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組(維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等)を進めてまいります。